

参考：関連用語集

- ・レジリエンス(resilience)
一般的に回復力・復元力という意味があり、災害などでシステムの一部の機能が停止した場合にも、全体としての機能を速やかに回復できる強靭さを表す。
- ・VPP(Virtual Power Plant)
需要側に散在する分散型エネルギーリソースを、IoT技術を用いて遠隔制御することで、あたかも1つの発電所のような機能を提供する仕組み。
- ・DR(Demand Response)
需要家側のエネルギーリソースを制御し電力の需要パターンを変化させ、調整機能を提供すること。需要制御のパターンによって、需要を増やす「上げDR」と需要を減らす「下げDR」がある。
- ・分散型エネルギー
住宅や工場に設置される太陽光発電など比較的小型の発電設備、蓄電設備や電気自動車、ネガワット(節電された電力)など、系統側や需要家側に接続されているエネルギー。
- ・パリ協定
2015年にフランスのパリで開催されたCOP21で採択された協定で、日本は2016年に批准。日本は2016年11月に批准。二酸化炭素排出量で55%以上を占める55カ国以上が批准という要件を満たし2016年11月に発効)
世界共通の長期目標として、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をすること、できるかぎり早く世界の温室効果ガス排出量をピークアウトし、21世紀後半には、温室効果ガス排出量と(森林などによる)吸収量のバランスをとることを掲げており、その実施に当たっては、各国の削減目標などを5年毎に提出することが義務付けられている。
* COP (Conference of the Parties) : 気候変動枠組条約締結国会議
- ・地球温暖化対策計画
地球温暖化対策の総合的かつ計画的な推進を図るため、2016年に、政府が地球温暖化対策法に基づいて策定した、我が国唯一の地球温暖化に関する総合計画。
温室効果ガスの排出抑制及び吸収の目標、事業者、国民等が講ずべき措置に関する基本的事項、目標達成のために国、地方公共団体が講ずべき施策等について記載している。
- ・RE100(Renewable Energy 100%)
100%再生可能エネルギー調達を目標に掲げる企業が加盟する国際的イニシアチブ。英国を拠点とする国際環境NGO The Climate Group (TCG)が2014年に設立。
加盟企業は、事業活動使用エネルギーについて、100%再生可能エネルギーへの転換期限を設けた目標達成計画を立て、事務局の承認を受けなければならない。
2020年2月現在、世界で225社が、日本で31社が加盟。

- ・ ESG 投資

財務情報だけでなく、環境 (Environment) ・ 社会 (Social) ・ ガバナンス (Governance) 要素も考慮した投資。

- ・ 第 5 次エネルギー基本計画

エネルギー政策基本法に基づき策定され、「3E+S」とよばれる「安全性」、「安定供給」、「経済効率性の向上」、「環境への適合」というエネルギー政策の基本方針に則り、日本のエネルギー政策の基本的な方向を示すもの。

2003 年 10 月からおよそ 3~4 年ごとに見直されており、第 5 次計画は 2018 年 7 月 3 日に閣議決定されている。

- ・ 系統制約

電力系統全体の需給バランスがくずれることや、系統容量の不足になどによって、新エネ発電の新たな系統接続が困難となること。

- ・ FIT (固定価格買取制度)

再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で一定期間買取を行う制度。

- ・ FIP

再生可能エネルギー発電事業者の投資予見可能性を確保しつつ、市場を意識した行動を促すため、市場価格を踏まえて一定のプレミアムを交付する制度。

- ・ ZEB (net Zero Energy Building)

- ・ ZEH (net Zero Energy House)

建築物・住宅の高断熱化等により大幅な省エネルギーを実現した上で、太陽光発電等の創エネにより、年間に消費するエネルギー量を実質的にゼロとなる建築物 (ZEB)、住宅 (ZEH)。

- ・ 次世代自動車

ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル車、CNG 自動車等

- ・ ノンファーム型接続

系統の容量超過時に発電を停止する条件付きで、新規電源を接続する

- ・ 調整力

電力の需給バランスを調整する能力。

- ・ マイクログリッド (Micro grid)

複数の分散型電源と電力消費施設を持つ小規模な電力ネットワーク。

- ・ スマートコミュニティ

電力だけでなく、熱や未利用エネルギーも含めたエネルギーを地域単位で総合的に管理するとともに、交通システムなども組み合わせた、ライフスタイル全体を視野に入れた社会システム

- ・スマートハウス街区

複数戸のスマートハウスによって形成された街区のこと。単体のスマートハウスが建ち並んでいるだけでなく、ヒートポンプや太陽光発電システム、蓄電池などの共用化によって、街区全体で省エネに取り組むもの

- ・EV(Electric Vehicle)

電気自動車。

- ・アグリゲーター

住宅用太陽光発電などの余剰電力を集約・管理し、小売業者に供給を行う中間事業者。

- ・SDGs(Sustainable Development Goals)

持続可能な開発目標。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成される。

* 目標7：エネルギーをみんなに、そしてクリーンに…「すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」